

ユーザー事例 会社 @SOHO

SOHOやフリーランス向け在宅ワークのポータルサイト。



ユーザープロフィール

サイト名	@SOHO
サイトURL	http://www.atsoho.com/
サイト会社	NPO法人 日本ITイノベーション協会
ご利用プラン	エントリープラン
ご利用オプション	PLESK7.5 (30ドメイン)

在宅ワークのマッチングサイトの利用者増にも対応

誰もが知っているポータルサイトの運営。Webサイト事業にかかわっている者であれば、一度は夢見ることだろう。といっても、それを立ち上げるとなれば果たして利用者はいるのか。利用者が増えてくれれば嬉しいが、もし一度に急増して運営する側が対応できなくなったらどうしようかなど、心配の種は数多くある。事業に専念するためにも、安心できるサーバー環境の設置はもちろん、いざというときの対応も可能な体制が強く求められるのだ。

信頼性が高く、使い勝手の良いサイトを目指して



「@SOHO」を運営するNPO法人日本ITイノベーション協会のIT担当理事・運営責任者の平城寿氏。

デザイナーやプログラマーなど、SOHOやフリーランス向けの在宅ワークを中心とした求人情報を提供しているのが、「@SOHO」。在宅ワークのポータルサイトとしてオープン以来、いま現在も利用者が急増している。「@SOHO」を運営しているNPO法人 日本ITイノベーション協会（略称：JITA）のIT担当理事であり、運営責任者の平城寿氏に話を伺った。

「@SOHOが正式にスタートしたのが2005年10月です。2007年の春にはSOHOメンバーの数が30,000人を超え、

2008年3月の時点では56,000人以上に達していて、いまま毎月ご利用いただいている方が増えています。発注いただいている企業数は4,000社近くになっており、求人案件数も10,000を超えています」（平城氏）

SOHOやフリーランス向け在宅ワークのポータルサイトとして、オープン当初はどのような感じだったのだろうか？「最初は当然ですが、あまり仕事情報も集まっていませんでした。また、他のサイトでも同様なSOHO向けの求人情報を紹介していましたが、ほとんどは掲示板形式で掲載しているだけのもの。発注していただく企業に対してはより信頼性を高めることが必要ですし、SOHOやフリーランスの方々にとっては、たとえば自分の応募履歴がわかるような使い勝手の良さが求められていると感じていました」（平城氏）



SOHOやフリーランスとして働く方々のさまざまな相談にも必要があれば応じている。



日本ITイノベーション協会は、さまざまなプロジェクトで在宅ワーカーを支援している

「@SOHO」では、「発注者の方」「お仕事を探したい方」のそれぞれに対して、業種別や地域別、あるいは在宅が常駐かなどの条件に応じて、SOHOの人材や発注案件を検索することができるサービスを提供している。また、SOHO、発注者ともメンバー登録することで、案件や登録情報の管理も可能だ。（登録料は無料。）

「@SOHO」は、エントリープランを利用。システム管理の専属スタッフは特に置いていないが、サーバーの運用などは問題なくできている。万一、レポートなどの必要が生じた場合でも、コントロールパネルからボタン一つで行うことが可能だ。



自社開発サーバー管理ツール「マイティーパネル」

急増する利用者にも万全の体制で対応

サイト運営のために利用しているサーバーは、オープン当初からマイティーサーバーの専用サーバー。他に検討したサーバーもあったが、信頼性の高さとリーズナブルな価格という点から、マイティーサーバーを選択した。平城氏自身はシステムの専門家であるため、いざというときのトラブルへの対応も可能とはいえ、サーバー管理にわずらわされることなく、ポータルサイトの事業運営に注力できることもポイントだったようだ。

「以前、原因はわからなかったのですが、サーバーの負荷が一時的に高くなってサーバーが落ちてしまったことがありました。通常のホスティングサービスですと営業時間内しか対応してもらえなかったり、解決までに時間がかかるという問題があります。マイティーサーバーの場合は、操作パネルを使ってリモートでもその場で再起動できるため、とても助かりました」（平城氏）

マイティーサーバーの場合は、他社のようにホスティングサービスのスタッフに依頼しなくても、標準装備されているマイティーパネルというコントロール画面を使うことで、簡単に電源を再投入することができるのである。マイティーパネルがあれば、サーバー管理者がいなくてもスムーズなサーバー管理作業が行えるというわけだ。

ポータルサイトの立ち上げなどは、事業を運営するにあたって最少人数のスタッフでスタートすることが多い。貴重な人材を本来の事業に専念させることで、初めてポータルサイトのアクセス数や利用者数の増加が見込めるのだろう。平城氏に今後の展開について聞いてみた。

「これまではWebサイト上の広告収入で運営費をまかないながら、地道に運営を続けたおかげで順調に利用者の数を増やすことができました。今年の年末までには、100,000人以上の方にご利用いただけるよう、さらに事業を展開していきます。また、いま以上の内容の個人情報をお預かりするようになった場合は、さらにセキュリティの向上や万一のときのバックアップ体制を万全にすることが重要です。マイティーサーバーの場合は、プライベート接続による複数のサーバー構成にも柔軟に対応してもらえるので、これからさらに事業が拡大していったときにもセキュリティの強化やバックアップの面で期待しています」（平城氏）

また、SOHO関連プロジェクトとして現在、平城氏が普及に努めているのが、「認定SOHO制度」だという。「現在、SOHOビジネススキル検定試験というものを実施しています。これは、SOHO事業者の方々をはじめ、ビジネス界において重要な役割を担う人材を排出することを目的とした試験です。この制度が広まることで、認定SOHO事業者の方と発注企業の皆さまの理想的なマッチングを実現したいと考えています」と語る平城氏。「@SOHO」の急成長にも対応できるよう、マイティーサーバーは全力で支援する。